



# 4月こと座流星群を見よう

天空が広がるうぶやまの高原には春を呼ぶ、暖かい風が吹きはじめました。陽が長くなり、桜の花も咲き始めました。

## 指針コラム (天体観・見どころ)

4月の星空情報の第3弾は、4月23日(木)の5時頃に極大を迎える、こと座流星群が見られる天文現象です。

4月こと座流星群は、毎年見られる流星群の一つです。その歴史はたいへん古く、紀元前687年に中国で観測されたものが最初の記録だとされています。普段の年は、さほどの流星が流れる訳ではありませんが、時々数多くの流星が出現することがあり、国内では1945年に、海外ではアメリカなどで1982年に流星数の増加が観測されています。

日本では、多くの地域で既に薄明が始まっている時間帯ですが、直前の3時頃には比較的条件が良く、観察ができそうです。

4月こと座流星群の流星が見え始めるのは、放射点が空に昇ってきた後の4月22日22時頃です。ただし、この時には西方の空の月明かりが邪魔することと、流れる星もわずかなため、観察の条件はあまり良くありません。翌日、23日の0時頃(23日の深夜)に月が沈みます。この頃には放射点が高くなり、極大にも近づくため、見える流星が増えていくことでしょう。最も多く流星が見られるのは、23日の3時頃とされ、空の暗いところであれば、1時間に10個もの流星が見られ、想定より多い場合には、15個程度にもなることが期待されます。

流星は、基本的に放射点を中心に放射状に出現しますが、そうでない場合もありますので、なるべく広い範囲を見渡すようにしましょう。

また、目が慣れる時間も考慮し最低でも15分ほど観察を続けると良いでしょう。レジャーシートなどを敷いて地面に寝転んだり、背もたれが傾けられる椅子に座ったりすると、楽な姿勢で観察できます。夜間の事故に遭わないように十分注意し、マナーを守って観察をしてください。

(次のページに続きます。)

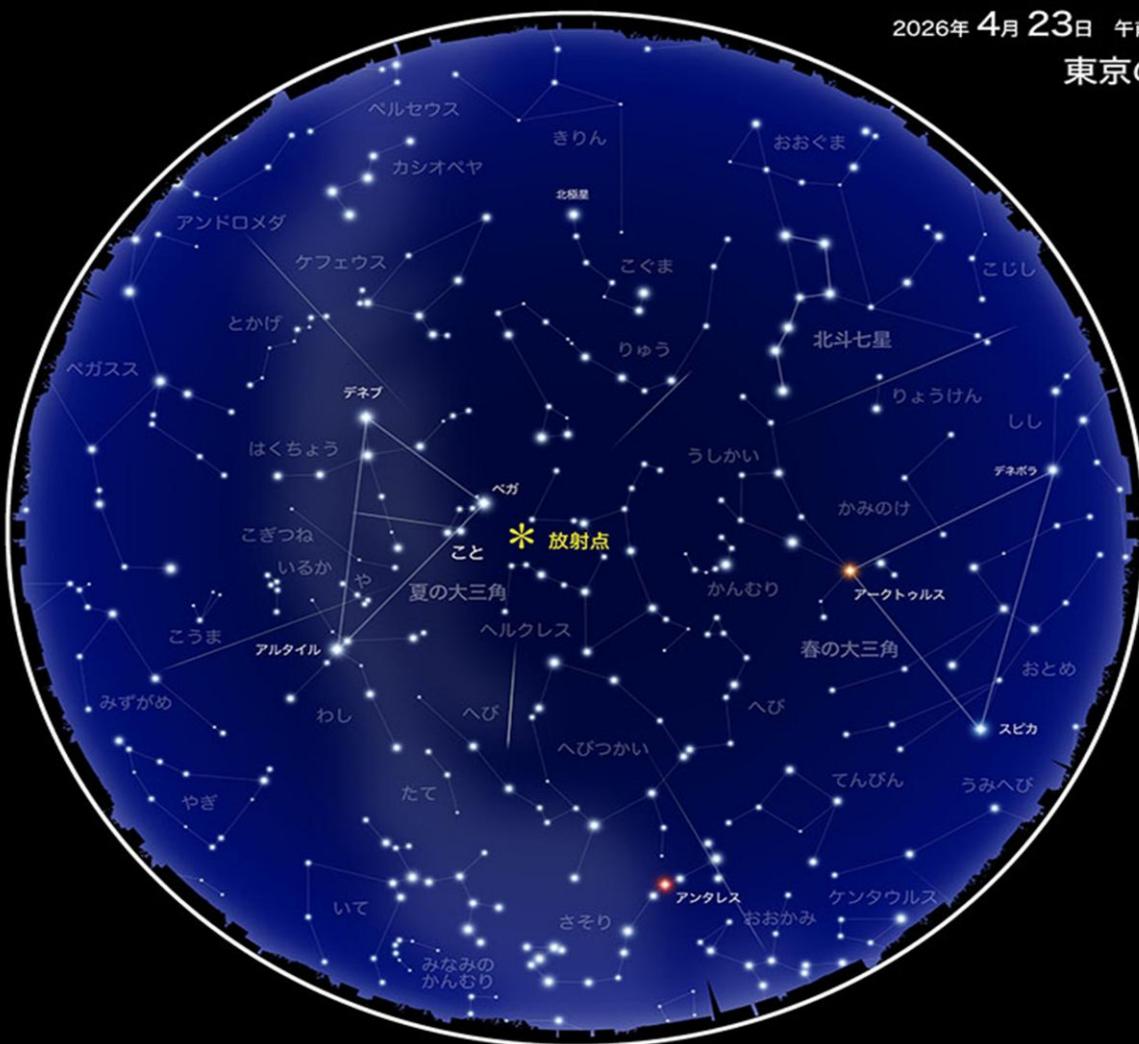
北

## 4月こと座流星群と放射点

2026年 4月 23日 午前 3時頃

東京の星空

東



西

南